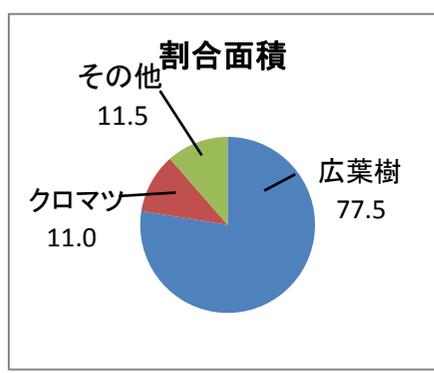


環境保全モデル林「土岐市高山城跡の森」概要書

- 1 設置者名 土岐市
- 2 所在地 土岐市土岐津町高山御屋敷493-1他（土岐市役所の東）
- 3 面積 10.81 ha
- 4 土地所有者 土岐市
- 5 森林の状況

樹種	広葉樹	クロマツ	その他	計
面積(ha)	8.38	1.19	1.24	10.81
比率(%)	77.5	11.0	11.5	



モデル林の状況

- ・市街地から近く、土岐ICから車で5分に位置した森林である。
- ・区域は普通林9.67ha(89%)、土砂流出防備保安林1.14ha(11%)である。
- ・平成15年度に「土岐里山の会」が結成、平成23年度に「高山城高山宿史跡保存会」が結成され、双方連携しながら草刈、除伐や植樹が継続して行われている。
- ・地形は緩やかな場所であり、ボランティアによる林内活動が可能である。
- ・植生は広葉樹(コナラ、カン類)が多く、部分的にマツやヒノキがある。

モデル林設置者が希望する活用イメージ

- 【環境教育型】校外学習による森林環境教育、ボランティア団体によるバードウォッチング、巣箱作り等の自然体験教室
- 【広葉樹利活用型】薪や竹炭の生産、間伐材による椎茸の菌打ちなど
- 【健康増進型】森林空間を利用し、四季を通じた森林散策など
- 【まちづくり型】生涯学習の場を利用 など

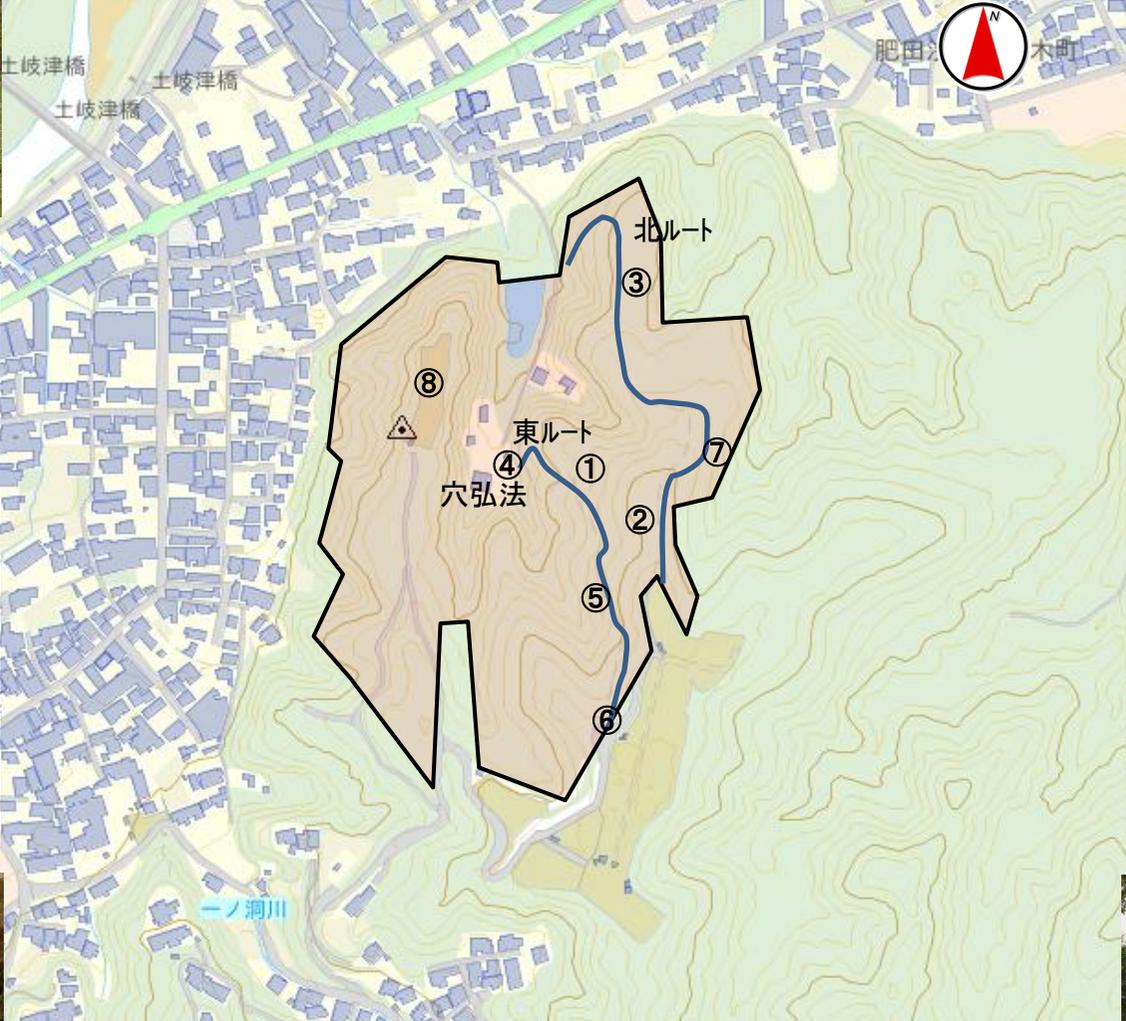
その他参考事項

- ・当区域は地元の幼稚園や小学校に近く、遠足などに利用されている。
- ・区域内に高山城跡があり訪れる観光客は多いが、森林整備を検討している区域まで、森林散策に訪れる人は少ない。
- ・保安林部分は森林整備を予定していない。
- ・H24年度、H25年度に、高山城高山宿史跡保存会が、既設の北ルートと東ルートの一部を、森林・環境基金事業を活用し整備を行った。

現地調査結果

- ・地域の代表的な里山林であり、「都市近郊里山林」の整備モデルとして位置付けるのに格好の森林。
- ・当地域は、高山城高山宿史跡保存会が中心となり、伐採した木や竹で薪や竹炭を生産、花桃の植栽など、毎年、継続して整備が行われている。
- ・里山整備後、10年を経過しているが、未整備の里山林もあり、今後の活動の広がりが期待できる。また、観光客への森林・環境税のPRが見込まれる。

「土岐市土岐津町高山御屋敷地区」平面図



① 林内状況



② 林内状況



③ 林内状況



④ 遊歩道 (東ルート)



⑤ 遊歩道 (東ルート)



⑥ 遊歩道 (東ルート)



⑦ 作業道・遊歩道 (北ルート)



⑧ 区域内 (高山城跡)



※ 候補地区域 - 赤色